◎第176回紀伊國屋サザンセミナー

集英社新書『決断のとき――トモダチ作戦と涙の基金』刊行記念

小泉純一郎 講演会

「日本の歩むべき道」

共催／紀伊國屋書店、集英社

3/9(金)

19:00 開演
(18:30 開場)

◎チケット取扱い

キノチケオンライン
https://www.kinokuniya.co.jp/

キノチケットカウンター
紀伊國屋書店 新宿本店5階
(営業時間 10:00～18:30)

紀伊國屋サザンシアター TAKASHIMAYA
タカシマヤタイムズスクエア南館7階
(営業時間 10:00～18:30)

会場 紀伊國屋サザンシアター TAKASHIMAYA
東京都渋谷区千駄ヶ谷5-24-2 タカシマヤタイムズスクエア南館7F
03-5361-3321

料金 1,500円(全席指定・税込) 2月7日 発売開始

3.11から7年。政治家は何をすべきか

- 総理在任中は見抜けなかった原発推進論者のウソ
- 「抵抗勢力」とはこう戦え
- 総理とは、自民党だけの代表ではない。全国民のためのリーダーであるべきだ
- 日本国民が決断すれば、アメリカは尊重する
- 「人生の本舞台は常に将来に在り」(尾崎行雄)。自分が生きている間に、原発ゼロは必ず実現させる

『決断のとき――トモダチ作戦と涙の基金』
小泉純一郎／著、常井健一／取材・構成
集英社新書 864円(税込)

若き日の挫折、師匠や盟友との出会いと別れ、総理の椅子から見えた景色、抵抗勢力との暗闘、忘れられない外交場面、そして家族、未来……「決断のとき」に小泉純一郎が貫いてきたものとは何か。初選挙から「原発ゼロ法案」発表に至るまでを振り返った、初の回想録。

1942年、神奈川県横須賀市生まれ。
2001年、第87代内閣総理大臣に就任。
以後、5年5か月にわたり構造改革を指揮。
2009年、政界引退。東日本大震災後、
原発ゼロ社会の実現を目指す講演活動を開始。